

志小安全・防災だより



R元.9.24 NO.20
安全・防災担当:早坂 潤

突然の災害発生時に慌てないようにするためには



左の図は、朝日新聞に掲載されていた自然災害に向けての「タイムラインを作ろう」です。今年も異常気象で突然の豪雨や落雷、突風などが心配される毎日です。また、このような気候の変動により千葉のようにこれまで大きな災害に襲われたことがないような県で被害に遭ったり、予期しない突風やゲリラ豪雨で家屋が水や土砂にのみ込まれ多くの命を落としたりしていることがニュースの話題となっています。今年の6月の話ですが、日中に表れた雲の形が、地震雲ではないかと話していた方がいました。その方はすぐに自宅の避難グッズの準備と家族でタイムラインの確認をしたそうです。その日は“空振り”だったようですが、大切な行動だったと思います。その何日か後に新潟県や山形県で大きな地震が発生しました。忘れた頃に突然やってくる災害に向けた備えの大切さを考えさせられました。

※ 地震雲とは大きな地震の前後に発生する特殊な形をした雲のことをいいますが、この雲と地震発生との関連性はよく分かっていないとのこと。

道路脇の水路が雨水?で削れていました

生涯学習センターに下っていく中央団地の道路ですが雨水の力なのか地震等で地盤に何らかの力が加わってできたのか原因は分かりませんが、道路脇の水路や縁石が右の写真のように削れていました。規模としては大きいものではありませんが、簡単には壊れないように計算されていたと思います。自然の力のすごさを感じさせられました。

